ITF World Tennis Tour
Asia Univ. Int'l Women's Open Tennis 2019

亜細亜大学国際オープンテニス2019

3月15日（金）本戦4日目

ハイライト

大会5日目を迎えた本日は、シングルス準々決勝とダブルス準決勝が行われた。今日はシングルス・ダブルス共に選手にとって大きな一戦となった。

第1試合は第3シードのデジャナ・ラダノビッチ選手(セルビア)と第6シードのジュリア・ガット・モンティコン選手(イタリア)の対戦に。ジュリア選手は風を上手く利用しスライスを多用することで相手のミスを誘う。ジュリア選手の戦略的なプレーに対応する事が出来ず、17分というスピードでファーストセットを奪う。思ったようなプレーをさせてもらえずデジャナ選手は感情的になってしまう場面が何度も。それでも武器であるフォアハンドで相手を崩しポイントを重ねる。セカンドセットの第2ゲームをブレイクに成功し2-0に。しかし冷静な判断と多彩なプレーでジュリア選手も相手を崩しにかかる。すぐさまブレイクバックに成功すると、そこから1ゲームも与えず6-0.6-2で勝ち上がった。明日はウクライナの期待の新星ダリア・ロパテスカ選手と対戦する。どんな試合展開になるのか目が離せない。

第2試合には予選上がりのクイン・グレーソン選手(アメリカ)が第4シードのレベッカ・マリノ選手(カナダ)に7-5.6-1のスコアで快勝した。クイン選手はファーストゲームをブレイクに成功。そのままサービスゲームをキープする形でクイン選手から5-4に。クイン選手のサービスキープでファーストセットが終わるかと思われたが、レベッカ選手の武器であるフォアハンドで攻め込まれブレイクを許す。しかし第10ゲーム、クイン選手は得意のネットプレーで相手を前後に揺さぶるとレベッカ選手のミスが出始め、ファーストセットを7-5で先取。ファーストセットを奪うと流れはクイン選手に。レベッカ選手は高身長を活かしたサーブでエースを何本も取るが、対応力が高く相手の弱点を突くのが上手いクイン選手を崩すことは出来ず、クイン選手の一方的な展開でセカンドセットは6-1のスコアに。予選から勝ち進んでいるとは思えない程ダイナミックな動きで準決勝へと駒を進めた。

ジュリア・ガット・モンティコン選手

クイン・グレーソン選手

一注目のカード一

米原実令選手(明治安田生命)
荒川晴菜選手(プロ・フリー)

VS

エミナ・ベクタス選手(アメリカ)
モーリー・ターラー選手(イギリス)

アルタネイトから出場の日本人ペア。初戦から第1シードを破り勢いに乗っている2人。安定感のあるストロークと決定力のあるボレーが持ち味。そしてなにより息の合ったプレーと笑顔の絶えない2人のダブルスに注目。

今大会第3シード。パワーのあるサーブと勢いのあるネットプレーで相手を攻め込む。勢いだけでなく繊細なタッチで相手を前後へ揺さぶる。攻撃的な2人のプレーに注目。

ロゴ順不同